

平成11年6月豪雨災害から20年 記念パネル展を開催

平成11年6月29日に発生した豪雨災害では、広島市・呉市を中心とする土砂災害で24名の犠牲者が出ました。この災害を契機として、広島市周辺で集中的に砂防事業を行うため、平成13年度から国土交通省により広島西部山系直轄砂防事業が始まりました。

この平成11年6月豪雨災害から20年目を迎えるにあたり、広島県とともに記念パネル展を開催します。

パネル展では、国土交通省による砂防事業の紹介と、土砂災害が起こりやすい広島市周辺の特徴を理解いただき、防災意識を啓発することを目的としています。

広島で多発する土砂災害

1999.6.29

2014.8.20

平成11年6月
梅雨前線
広島市佐伯区・安佐南区・安佐北区・呉市他



平成26年8月
局地的な豪雨
広島市安佐南区・安佐北区他



〈展示パネルの一部〉

開催概要

開催期間：令和元年8月1日（木）から9月1日（日）まで

開催場所：〔会場①〕安佐北区総合福祉センター 1階（8:30～22:00）

〔会場②〕安佐北区民文化センター 1階（9:00～21:00）

※展示は、広島県の「土砂災害伝承パネル展」との共催です。

オープニング・セレモニー

開催日時：令和元年8月1日（木） 10時から

開催場所：安佐北区総合福祉センター 1階ロビー

開催内容：10:00 主催者挨拶（他機関を含む）

10:20 朗読劇「弘法大師と南原川の鮒」



会場①
安佐北区総合福祉センター
広島市安佐北区可部3丁目19-22

会場②
安佐北区民文化センター
広島市安佐北区可部7丁目28-25

※上記の地図は、国土地理院の地理院地図（標準地図）を使用したものである